

# まるめろ12月号

介護支援センターあけほの会  
弥生苑デイサービス№260  
2021年12月1日発行

## 祝 弥生祭



11月17日(水)に今年度の弥生祭が開催されました。コロナウィルスの影響で催しをすることは難しく、少しでも楽しんで頂けるよう昼食に“お寿司”を準備して職人さんを招きパフォーマンスを行いました。職人さんが目の前で握って下さり、普段あまり沢山食べられない方もおかわりをされていました。いらしたお客様からも「美味しかった、お腹がいっぱいで動けない」と声を頂いております。好評の声が多く、年に一度の恒例行事になりつつあるため、来年度も開催できるように準備を進めていきたいと思っております。

日本全国では、コロナウィルス感染者が軒並み低い状況が続いております。逆に欧米諸国では、感染者が増加している傾向が見られています。また、新たな変異株も発見され油断を許さない状況です。これから、規制緩和や年末年始の慌ただしい時期に入るため普段からの“手洗い・うがい”や“マスク”の着用が大切になっていきます。良い年を迎えられるように正しく恐れて行きましょう。



## 新しいお仲間紹介



新しく一名のお客様がご利用になりました



## 12月単発アクティビティー

- ・12月 6日(月) ニット帽のストラップ
- ・12月 8日(水) 折り紙教室
- ・12月 16日(木) 羽子板作り
- ・12月 17日(金) 正月紙飾り
- ・12月 21日(火) 季節の折り紙飾り
- ・12月 25日(土) 正月飾り
- ・13日(月)~28日(火) カレンダー作り



季節の折り紙教室



羽子板作り



折り紙教室



## 12月生まれの方



4名のお客様が誕生日をお迎えになりました。

おめでとうございます!



# 保健だより ～ノロウイルスに注意～

## 1 ノロウイルスの潜伏期間 ～感染するとどうなるの？～

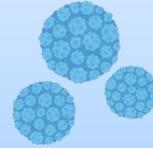


★嘔吐と下痢が主な症状です。

ノロウイルスは感染すると、24～48時間ほどの潜伏期間を経て感染症や食中毒を発症すると言われています。

★食中毒の場合は前日か前々日の食べ物が原因と考えられます。

主な症状は吐き気、嘔吐、腹痛、下痢があげられ、37～38度ほどの発熱があります。



## 2 突然のノロウイルスの症状

★ノロウイルス感染は初期に微熱が出ることも多いのですが、大抵はいきなり辛い症状がおこります。お腹がチクチク痛みだし、やがてこみ上げるような痛みや不快感、吐き気をもよおします。我慢できなくて1日に何度も吐いたという人も大勢います。

吐き気が治まると今度は下痢が続き、水のような便が出ると言われています。

★ノロウイルスは、冬場に多い「感染性胃腸炎」の一種ですが、健康な成人男性なら、幸いにも1～2日ほどの比較的軽い経過で終り、後遺症が残ることもありません。免疫力の強い大人なら感染しても発症しない場合や、風邪のような症状でおさまる場合もありますが、免疫力の低下した乳幼児やお年寄りの場合は症状が重くなったり、長引くことがあるので注意が必要です。



## 3 ノロウイルスのここが怖い！

★ノロウイルス感染は下痢だけでなく、激しい嘔吐を引き起こすのが特徴です。特に感染した子どもの世話や看病をした人が吐しゃ物などを介して二次感染するケースも多く、

適切に処理して消毒を行わないと感染を広めてしまう危険性があります。

また、アルコールや高温に対する耐性があり、乾燥や酸にも強く、水の中も平気と非常にタフです。

さらに、困ったことに、ノロウイルスには多数の遺伝子型が存在するため、一度感染して完治したから大丈夫とは言えません。

異なる型が侵入して再感染する場合もあるので、活発になる冬場は特に安全でウイルスに対して強力に働く「次亜塩素酸水」などで消毒をし予防しましょう。



※年末年始のお休みについて※

**12月29日(水)～1月3日(月)まで休業致します。**

**1月4日(火)より通常営業致します。**